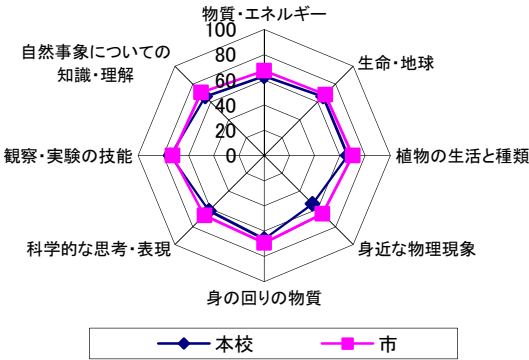


宇都宮市立国本中学校 第1学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	62.9	67.3
	生命・地球	66.0	68.4
	植物の生活と種類	66.2	70.2
	身近な物理現象	54.2	65.4
	身の回りの物質	66.3	69.3
観点別	科学的な思考・表現	62.0	67.1
	観察・実験の技能	74.3	72.8
	自然事象についての知識・理解	66.1	70.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	市の平均正答率より4.5ポイント下回っている。文章で答える設問での正答率が低い。	学習内容の理解も重要だが、表現の能力を訓練することも指導したい。
生命・地球	市の平均正答率より2.4ポイント下回っているが、他の領域よりは理解されている。	現象の規則性を見抜く能力を身につけられるように指導したい。
植物の生活と種類	市の平均正答率より4.0ポイント下回っている。物質・エネルギーの領域と同様に、文章で表現する設問での正答率が低い。	比較的抵抗感のない領域と思われるが、生物のはたらきを中心に指導していきたい。
身近な物理現象	光による現象のみではあるが、市の平均正答率を11.2ポイントも下回り、理解が不十分である。筋道だった考え方に課題がある。	物理現象の領域は、数学的な処理が必要なので、計算練習や作図などをくり返し指導したい。
身の回りの物質	市の平均正答率より3.0ポイント下回っている。実験・観察の技能等で、市の正答率を上回っている設問もあるが、定量的な設問の正答率が低い。	定量的な考え方に慣れるような指導をしたい。